



深谷が生んだ実業家

「渋沢栄一と鉄道」展示コーナー設置

- 2024(令和6)年発行の新一万円札の図柄に採用されることが決まり、NHKの大河ドラマでも話題になっている渋沢栄一。
- 約500社もの会社の設立・育成に携わり、「日本資本主義の父」「近代日本経済の父」と称された渋沢は、数多くの鉄道会社の立ち上げにも関与しました。
- 今回は渋沢と鉄道会社の関係がわかる資料を中心に展示します。

1 展示期間 2021年9月29日(水)～2022年1月10日(月)

2 展示場所 ①本館 1階 エントランス
②南館 3階 歴史ステーション 時計ひろば

3 協力 渋沢史料館、深谷市教育委員会
埼玉県、NHKさいたま放送局

4 おもな展示資料

①本館 エントランス

渋沢の略歴や、生まれ故郷の深谷に関する当館所蔵資料を中心に展示します。

②南館 歴史ステーション 時計ひろば

渋沢が関わった鉄道会社の資料を中心に展示します。

●渋沢栄一と鉄道の出会い

日本が初参加したパリ万国博覧会に随員の一員として渋沢が派遣された際、初めて鉄道に乗車した記録などの資料を紹介します。



渋沢栄一著『航西日記』

●渋沢栄一と鉄道会社

渋沢が実業家として関わった鉄道会社に関する資料を紹介します。

れんが

●渋沢栄一と煉瓦製造会社

渋沢が設立に関わった深谷の日本煉瓦製造株式会社と煉瓦を輸送した鉄道に関する資料を紹介します。



日本煉瓦製造株式会社
で製造されたレンガ



渋沢栄一(1840-1931)



日本鉄道 百株以上
株主人名表(部分)

写真提供: 深谷市教育委員会



日本煉瓦製造株式会社
専用線を走る貨物列車